



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 トレーディア株式会社 上場取引所 東
コード番号 9365 URL
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 大介
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 茨木 信弘 TEL 078-391-7170
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	8,181	7.2	108	26.4	211	1.4	147	△33.4
2024年3月期中間期	7,631	△26.4	85	△61.1	209	△40.8	221	△10.0

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 58百万円 (△87.1%) 2024年3月期中間期 452百万円 (85.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	100.65	—
2024年3月期中間期	151.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	10,458	4,385	41.9
2024年3月期	10,412	4,400	42.3

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,385百万円 2024年3月期 4,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	3.3	280	40.1	400	10.2	280	△14.3	190.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	1,470,000株	2024年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	3,818株	2024年3月期	3,786株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	1,466,193株	2024年3月期中間期	1,465,603株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げの波及やインバウンド需要により、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、長引く円安、物価高騰、緊張感を増す国際情勢等、景気下振れの懸念材料は依然として拭いきれておりません。

当社グループを取り巻く環境としては、輸出入ともに貨物の取扱量は前年同期を上回って推移しましたが、日本国内の消費低迷の影響により、輸入関連は厳しい状況となりました。一方で、輸出関連では、取扱量増加に伴う収益性の改善と、日本発の海上運賃が回復基調になるなど、明るい兆しが見られました。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比4.0%増加し、営業収入は前年同期比7.2%増の81億81百万円余(対前年同期5億49百万円余増)となりました。損益面につきましては、営業総利益は前年同期比6.1%増の4億97百万円余(対前年同期28百万円余増)となりました。営業損益は、前年同期比26.4%増の1億8百万円余の利益(対前年同期22百万円余増)、経常損益は、営業外費用が減少したことにより前年同期比1.4%増の2億11百万円余の利益(対前年同期2百万円余増)となりました。しかしながら、前年計上した投資有価証券売却益のような特別利益がなかったため、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比33.4%減の1億47百万円余(対前年同期73百万円余減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨の取扱いが減少したものの、食料品と機械機器製品が堅調に推移し、取扱量は前年同期比で3.5%増となりました。また、自社倉庫での取扱量や取扱件数が前年同期比で増加したため、収益性が改善し、輸出部門の営業収入は前年同期比10.3%増の13億80百万円余(対前年同期1億28百万円余増)、セグメント損失6百万円余(前年同期はセグメント損失46百万円余)の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、食料品、機械製品、雑貨の取扱いが増加し、取扱量は前年同期比2.9%増となりました。その一方で、取扱件数は前年同期比で微減となり、自社倉庫での取扱量も伸び悩み、外注比率も増加したことから、収益性の改善には至らず、輸入部門の営業収入は前年同期比0.3%増の25億30百万円余(対前年同期8百万円余増)、セグメント損失21百万円余(前年同期はセグメント損失27百万円余)の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、輸出が好調だったものの輸入は力強さを欠く結果となりました。輸出においては、設備関連、三国間案件が好調に推移し、取扱量が前年同期比19.4%増となりました。また、運賃水準も回復基調となったため、営業収入も前年同期比43.2%増となりました。一方、輸入においては、日本国内の消費低迷の影響で、取扱量、営業収入ともに前年同期比で微増にとどまり、業者間の競争で運賃水準も下落したことにより、収益性が低下しました。その結果、国際部門全体の営業収入は、前年同期比11.2%増の41億91百万円余(対前年同期4億20百万円余増)、セグメント利益は前年同期比17.8%減の1億6百万円余(対前年同期23百万円余減)の計上となりました。

④倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同様の27百万円余となりました。セグメント利益は前年同期比4.9%増の25百万円余(対前年同期1百万円余増)の計上となりました。

⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比12.5%減の54百万円余となり、セグメント利益は前年同期比19.8%減の4百万円余の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入1百万円余を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ45百万円余増加し、104億58百万円余となりました。流動資産は2億15百万円余減の37億81百万円余、固定資産は2億61百万円余増の66億76百万円余であります。流動資産減少の主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産は増加しましたが、現金及び預金の減少等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、投資有価証券は減少しましたが、建物及び構築物、リース資産の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ95百万円余増加し、39億76百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、34百万円余減少し20億97百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金は減少しましたが、支払手形及び営業未払金、その他の増加等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、リース債務は増加しましたが、長期借入金、繰延税金負債の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ14百万円余減少し、43億85百万円余となりました。純資産減少の主な要因は、利益剰余金は増加しましたが、その他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,304,219	838,115
受取手形、売掛金及び契約資産	1,572,139	1,773,754
立替金	974,213	1,014,732
その他	149,018	157,202
貸倒引当金	△2,610	△1,994
流動資産合計	3,996,981	3,781,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,021,937	1,261,380
機械装置及び運搬具(純額)	20,096	50,451
工具、器具及び備品(純額)	4,196	4,248
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産(純額)	53,327	151,302
有形固定資産合計	2,881,214	3,249,040
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	54,938	48,447
無形固定資産合計	89,498	83,007
投資その他の資産		
投資有価証券	2,004,288	1,857,419
差入保証金	774,231	774,289
退職給付に係る資産	72,037	92,220
その他	598,847	625,218
貸倒引当金	△4,265	△4,265
投資その他の資産合計	3,445,138	3,344,881
固定資産合計	6,415,851	6,676,930
資産合計	10,412,833	10,458,740

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,154,806	1,289,886
短期借入金	2,166,240	1,966,145
リース債務	38,855	54,106
未払法人税等	11,565	74,062
賞与引当金	231,322	235,664
その他	278,137	356,209
流動負債合計	3,880,927	3,976,075
固定負債		
長期借入金	1,661,970	1,578,898
リース債務	52,444	140,732
長期未払金	—	2,545
繰延税金負債	334,216	287,690
役員退職慰労引当金	70,480	74,952
その他	12,650	12,650
固定負債合計	2,131,761	2,097,468
負債合計	6,012,689	6,073,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	169,380	169,380
利益剰余金	2,706,532	2,780,801
自己株式	△6,926	△6,970
株主資本合計	3,603,986	3,678,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	802,308	695,873
為替換算調整勘定	26,747	43,094
退職給付に係る調整累計額	△32,898	△31,983
その他の包括利益累計額合計	796,157	706,984
純資産合計	4,400,143	4,385,195
負債純資産合計	10,412,833	10,458,740

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業収入	7,631,988	8,181,638
営業費用	7,163,207	7,684,389
営業総利益	468,780	497,249
一般管理費	382,928	388,756
営業利益	85,852	108,492
営業外収益		
受取利息及び配当金	119,385	80,184
持分法による投資利益	2,861	1,889
その他	41,658	51,520
営業外収益合計	163,904	133,594
営業外費用		
支払利息	27,919	29,812
その他	12,828	323
営業外費用合計	40,748	30,136
経常利益	209,008	211,950
特別利益		
固定資産売却益	119	2,699
投資有価証券売却益	109,515	—
特別利益合計	109,635	2,699
特別損失		
固定資産除売却損	0	988
リース解約損	—	3,552
特別損失合計	0	4,540
税金等調整前中間純利益	318,644	210,109
法人税等	97,182	62,529
中間純利益	221,462	147,580
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	221,462	147,580

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	221,462	147,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	222,822	△106,434
退職給付に係る調整額	1,123	914
持分法適用会社に対する持分相当額	6,735	16,346
その他の包括利益合計	230,681	△89,173
中間包括利益	452,143	58,406
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	452,143	58,406
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	318,644	210,109
減価償却費	75,071	68,234
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△18,865
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△25,498	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△573	△616
受取利息及び受取配当金	△119,385	△80,184
支払利息	27,919	29,812
持分法による投資損益(△は益)	△2,861	△1,889
有形固定資産除売却損益(△は益)	△119	△1,711
その他の損益(△は益)	△4,756	△2,387
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,052	4,342
投資有価証券売却損益(△は益)	△109,515	—
営業債権の増減額(△は増加)	173,084	△201,614
立替金の増減額(△は増加)	△84,972	△40,518
その他の資産の増減額(△は増加)	33,891	△26,162
営業債務の増減額(△は減少)	△86,849	135,080
前受金の増減額(△は減少)	△123,768	66,646
その他の負債の増減額(△は減少)	△45,429	△35,293
小計	22,829	104,982
利息及び配当金の受取額	127,009	80,184
利息の支払額	△23,749	△45,739
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△192,994	31,847
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,906	171,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,293	△258,448
有形固定資産の売却による収入	120	3,085
無形固定資産の取得による支出	△8,448	△1,650
投資有価証券の取得による支出	△2,469	△2,009
投資有価証券の売却による収入	153,708	—
貸付金の回収による収入	6,600	3,000
その他の収入	43,354	6,025
その他の支出	△10,188	△9,994
投資活動によるキャッシュ・フロー	157,382	△259,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△55,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△83,069	△83,167
配当金の支払額	△73,317	△73,310
その他の支出	△24,554	△20,909
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,941	△377,387
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△145,465	△466,104
現金及び現金同等物の期首残高	1,357,891	1,304,219
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,212,426	838,115

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前中間純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	1,251,158	2,522,441	3,770,721	27,000	60,667	7,631,988	—	7,631,988
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	1,320	1,320	△1,320	—
計	1,251,158	2,522,441	3,770,721	27,000	61,987	7,633,308	△1,320	7,631,988
セグメント利益又は損失(△)	△46,957	△27,431	129,618	24,703	5,919	85,852	—	85,852

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△1,320千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	1,380,042	2,530,456	4,191,216	27,000	52,922	8,181,638	—	8,181,638
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	1,320	1,320	△1,320	—
計	1,380,042	2,530,456	4,191,216	27,000	54,242	8,182,958	△1,320	8,181,638
セグメント利益又は損失(△)	△6,928	△21,786	106,557	25,902	4,747	108,492	—	108,492

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△1,320千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益であります。